

2018年：管理人が選ぶ年間表彰

	氏名	理由
MVP	竹迫司登	層の薄い重量級ではあるが、強打で存在感を示した。
殊勲賞	船井龍一	卓越したテクニックと闘志が光り、激戦にも強い。ワルット・パレナスを8回TKOで破り、WBOアジアパシフィック王座を獲得。
技能賞	末吉 大	巧みなディフェンスとカウンターのうまさが見える。次点＝阿部麗也
努力賞	源大輝	日本タイトル奪取、初防衛をいずれも後半のTKOで飾り、勝負強さを見せた。
	齋藤裕太	全日本新人王獲得から足踏みしたが、見事に日本タイトルを獲得。
KO賞	竹迫司登	3戦3KO勝ち。
敢闘賞	勅使河原弘晶	中谷正義
新鋭賞	中谷潤人	小田翔夢
年間最高試合	和氣慎吾vs.久我勇作(7/27)	次点＝末吉大vs.三代大訓(10/6)、ドニー・ニエテスvs.井岡一翔(12/31)
来日あるいは日本人と対戦した外国人MVP	ワシル・ロマチェンコ	次点＝クリストファー・ティエス、アイザック・トクホー
管理人特別賞		該当なし